

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	日本下水道事業団補助に必要な経費		事業開始年度	昭和47年度		作成責任者
担当部局庁	都市・地域整備局下水道部		担当課室	下水道企画課		課長 田辺 義貴
会計区分	一般会計		上位政策	良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本下水道事業団法第37条		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本下水道事業団が行う研修、試験研究業務に必要な経費を補助することにより、下水道技術者の養成並びに下水道に関する技術の開発、実用化を図ること等により、下水道の整備を促進し、もって生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備の促進等に必要な下水道技術者の確保及び個々の技術者の業務遂行能力の向上を図るため、地方公共団体等の下水道担当職員の養成を目的とする研修に要する費用を補助する。 ・下水道の効率的な整備、維持管理を図るため、全国的観点から地方公共団体が広く活用できる技術の開発及び実用化のための試験研究に要する費用を補助する。 					
実施状況	<p>【研修業務】 H19:5コース、57専攻、2,146人受講。H20:5コース、60専攻、2,339人受講。H21:5コース、65専攻、2,444人受講。</p> <p>【試験研究業務】 H19:高度処理技術の省エネルギー化・コンパクト化に関する技術調査、新たなシミュレーション技術を用いた既設処理場の高機能化に関する調査、ライフサイクルコスト削減を目的とした技術に関する調査、未利用バイオマスの活用によるエネルギー自立型処理場の開発に関する調査 H20:高度処理技術の省エネルギー化・コンパクト化に関する技術調査、ライフサイクルコスト削減を目的とした技術に関する調査、未利用バイオマスの活用によるエネルギー自立型処理場の開発に関する調査、バイオテクノロジーを活用した次世代型水処理プロセスの開発 H21:高度処理技術の省エネルギー化・コンパクト化に関する技術調査、ライフサイクルコスト削減を目的とした技術に関する調査、バイオテクノロジーを活用した次世代型水処理プロセスの開発、下水道における新しいエネルギー転換・回収技術の開発</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	418	411	406	346	
	執行額	418	411	406		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	毎年度、事業団の予算及び事業計画(変更も含む)の大臣認可をしている。 【研修業務】 認可予算上の研修事業計画に対し、研修実績報告により実施状況を把握。 【試験研究業務】 認可予算上の試験研究事業計画に対し、技術開発実績報告により実施状況を把握。				
	見直しの余地	【研修業務】 ・研修受講参加状況等を勘案して研修専攻のスクラップ&ビルトを行うなど、引続き、研修内容の合理化に努める。 【試験研究業務】 多種多様な試験研究のニーズの中から、引続き、高度処理技術の省エネルギー化・コンパクト化やライフサイクルコスト削減といった政策課題に対応するための研究テーマを優先的かつ重点的に選定するように努める。				
予算チームの所見・効率化						
補記	(21年度予算額)			(21年度決算見込額)		
	015 水環境対策費 95 良好な水環境の形成等の推進に必要な経費 95016-2815-16 日本下水道事業団補助金	406百万円		406百万円		

国土交通省
406百万円

〔日本下水道事業団補助金の
助成及び指導・監督〕



【補助】

A.日本下水道事業団
406百万円

〔日本下水道事業団が行う研修、
試験業務の実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.日本下水道事業団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
日本下水道事業団補助金	日本下水道事業団が行う研修、試験業務に必要な経費	406			
計		406	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)